

# JIS

土工機械—スクレーパ—  
第2部：仕様書様式及び性能試験方法

JIS D 0004-2 : 1998

(2008 確認)

平成10年6月20日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。これによってJIS D 0004-1994は廃止され、この規格とJIS D 0004-1に置き換えられる。

JIS D 0004-〇は、一般名称を“土工機械—スクレーパ”として、次の各部によって構成する。

**第1部**：用語及び仕様項目

**第2部**：仕様書様式及び性能試験方法

**第3部**：ボウルの定格容量

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。主務大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 10. 6. 20

官報公示：平成 10. 6. 22

原案作成協力者：社団法人 日本建設機械化協会

審議部会：日本工業標準調査会 一般機械部会（部会長 岡村 弘之）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 土工機械—スクレーパ—

D 0004-2 : 1998

## 第2部：仕様書様式及び性能試験方法

## Earth-moving machinery—Scrapers—

## Part 2 : Standard form of specifications and testing methods

1. 適用範囲 この規格は、主として土工作业などに使用する自走式のスクレーパ及び被けん引式スクレーパ(以下、スクレーパという。)の仕様書の様式及び記入要領並びにその性能試験方法について規定する。

なお、性能試験方法は、**附属書**に規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS A 8303	土工機械—ホイール式機械の回転半径測定方法
JIS A 8304	建設機械用座席の振動伝達特性の試験方法
JIS A 8309	土工機械—けん引力測定方法
JIS A 8311	土工機械—運転席の視界測定方法とその評価基準
JIS A 8915	土工機械の重心位置測定方法
JIS B 7505	ブルドン管圧力計
JIS B 7507	ノギス
JIS B 7510	精密水準器
JIS B 7512	鋼製巻尺
JIS B 7516	金属製直尺
JIS C 1502	普通騒音計
JIS C 1505	精密騒音計
JIS D 0004-1	土工機械—スクレーパー第1部：用語及び仕様項目
JIS D 0004-3	土工機械—スクレーパー第3部：ボウルの定格容量
JIS D 0006	建設機械用ディーゼルエンジンの仕様書様式及び性能試験方法
JIS D 1014	自動車加速試験方法
JIS D 5301	自動車用鉛蓄電池
JIS D 8201	自動車用タイヤゲージ
JIS K 2202	自動車ガソリン
JIS K 2204	軽油
JIS Z 8704	温度測定方法—電気的方法
JIS Z 8705	ガラス製温度計による温度測定方法
JIS Z 8731	騒音レベル測定方法

## 3. 仕様書の様式

3.1 仕様書は、**付表1**及び**付表2**の様式による。